

平成 27 年 2 月 6 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油ストーブ（開放式）、電気洗濯乾燥機に関する事故（リコール対象製品）について
（詳細は次頁以降参照）

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うちガスストーブ（開放式、LPガス用）1件、
ガスコンベクションレンジ（都市ガス用）1件、
油だき温水ボイラ1件、石油ストーブ（開放式）1件） | 4 件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち電気カーペット1件、コンセント1件、電気洗濯乾燥機1件） | 3 件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち電気マット1件、凍結防止用ヒーター（水道用）1件、
運動器具（ルームランナー）1件、椅子（入浴介護用）1件、
踏み台（アルミニウム合金製）1件、電動アシスト三輪自転車1件） | 6 件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）について（管理番号A201400721）

① 事故事象について

株式会社コロナが製造した石油ストーブ（開放式）の給油タンクを引き抜いたところ、灯油が漏れ、当該製品を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（無償点検・修理）について

同社は、当該製品を含む2000年（平成12年）以前に製造された石油ストーブ及び石油温風暖房機（石油ファンヒーター）（下記③）に付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）については、長期間の使用による給油口の変形などの要因により、給油口がロックされたと使用者が誤認する「半ロック状態」になる事象が発生する可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2008年（平成20年）9月17日にプレスリリース、翌18日に社告を実施し、石油ストーブに付属するカートリッジタンク（よごれま栓タンク）使用時の注意喚起をするとともに、販売店の店頭及び消費者へのアフターサービス訪問時におけるチラシ配布、テレビCM等により、2000年（平成12年）以前に製造された石油ストーブ等の給油タンクについて、無償点検・修理（給油口蓋の半ロック状態を防止するため、蓋の開閉ちょうつがい部にスプリング機能を追加）を呼び掛けています。さらに、平成23年2月から、これまでの対策に加え、灯油販売所への店頭チラシの配布、同社の石油暖房機器全般の販売時におけるチラシの同梱を行い、引き続き、注意喚起及び啓発PRを実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号A201400721）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品：対象製品名、機種・型式、製造期間、製造台数

- ・ 対象製品名：コロナ石油ストーブ等に付属のカートリッジタンク（よごれま栓タンク）
- ・ 機種・型式：2000年（平成12年）以前に製造されたコロナ石油ストーブ等で、下表に示す型式に該当するもの
- ・ 製造期間：1987年～2000年

石油ストーブ(反射型)

製造年(西暦)	型 式			
1987	SX-1800DX	SX-2200DX		
1988	SX-1800	SX-2200	SX-1800DXA	SX-2200DXA
1989	SX-1810	SX-2210	SX-3000	
1990	SX-1820	SX-2220	SX-3020	
1991	SX-1840	SX-2240	SX-3040	
1992	SX-1850	SX-2250	SX-2250X	SX-3050
1993	SX-1860	SX-2260	SX-3060	
1994	SX-1870	SX-2270	SX-3060	
1995	SX-1880Y	SX-2280Y	SX-3080Y	
1996	SX-1800Y	SX-2200Y	SX-3080Y	NX-22Y
	RX-D18Y			
1997	SX-B21Y	SX-B26Y	SX-B35Y	SX-B27WY
	NX-26Y	RX-B21Y	RX-B26Y	
1998	SX-C210Y	SX-C260Y	NX-26Y	
1999	SX-D27WY			
2000	SX-E210Y	SX-E260Y	SX-E21Y	SX-E26Y
	SX-B35YA	SX-D27WYA	NX-26YA	KM-D27WY

石油ファンヒーター

製造年(西暦)	型 式			
1993	FH-3360AYL			
1994	FH-2570Y	FH-3270Y	FH-3370AYL	GT-2570Y
	GT-3270Y	FK-F250	FK-F320	KH-A25Y
	KH-A32Y	KH-3207Y		
1995	FH-2580Y	FH-3280Y	FH-5580Y	FH-2580AY
	FH-3380AY	NH-2580Y	NH-3280Y	GT-2580Y
	GT-3280Y	KH-B25Y	KH-B32Y	FK-G250
	FK-G320	AH-3280Y		
1996	FH-A30Y	FH-A37Y	FH-A47Y	FH-A60Y
	FH-A30AY	FH-A37AY	NH-A30Y	NH-A37Y
	GT-A30Y	GT-A37Y	GT-A30YJ	KH-A30WS
	KH-A37WS	KH-C30Y	KH-C37Y	FK-H30
	FK-H37			
1997	FH-B30AY	FH-B37AY	FH-B30BY	FH-B40BY
	FH-B50BY	FH-B62Y	NH-B30BY	NH-B40BY
	GT-B30BY	GT-B40BY	KH-B30WS	KH-B40WS
	KH-D30BY	KH-D40BY	FK-J30	FK-J40
1998	FH-C320BY	FH-C430BY	FH-C530BY	GT-C30Y
	GT-C32BY	GT-C53BY	FK-K32	FK-K53
	KCF-A300			
1999	FH-D320BY	FH-D430BY	FH-D530BY	FH-MD30Y
	GT-D30Y	GT-D32BY	GT-D43BY	GT-D53BY
	GT-EG30Y	GT-KS30Y	FK-L30	FK-L32
	FK-L43	FK-L53		
2000	FH-E62Y	FH-EX32BY	FH-EX43BY	FH-EX53BY
	FH-ES32BY	GT-E30Y	KM-30Y	KS-E30Y
	FK-M30	FK-M32	FK-M43	FK-M53
	FJ-V30Y			

- ・ 製造台数：石油ストーブ 2, 090, 000台
- 石油ファンヒーター 4, 270, 000台
- 計 6, 360, 000台

2008年（平成20年）9月17日からリコール（無償点検・修理）を実施
 改修率：1.7%（2015年1月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201400721）発生以前の、同社が製造した当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	1	火災	2011年度	0	—
2013年度	1	火災	2010年度	1	火災・軽傷1名 火災
2012年度	1	火災		1	

<対象製品の外観>



(写真はS X - 3 0 2 0)



(当該製品の給油タンク)

<対象製品の確認方法>

	【製造年の表示位置】 △△年製	【対象製品の製造年】 2000年製 〇〇年製 ↓ 1996年製 96年製※ 及び 製造年表示のないもの	(1987年製から1995年製の製品には製造年表示がありません) ↑
	※ファンヒーターについては94年製以降製造年表示があります。		

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

また、事業者による点検・修理を受けられるまでの間は、次図に従って、給油口蓋が確実にロックしていることを御確認ください。

当該製品に限らず、石油ストーブ等に給油する際には、石油ストーブ等を必ず消火した上で、給油タンクの蓋を確実に閉め、蓋が閉まっていることを確認して、石油ストーブ等に戻すよう、正しい給油方法に従って安全に給油を行ってください。

【問合せ先】

株式会社コロナ お客様相談窓口

電話 番号：0120-623-238

受付 時間：9時～17時（土・日・祝日・年末年始及び同社休業日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html>

警告 ●給油は、必ず消火し、火が消えたことを確かめてからおこなってください。火災のおそれがあります。	給油時消火 	危険 ガソリン厳禁 ●必ず灯油をご使用ください ●ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
警告 ●給油後、油タンクの給油口を確実にロックし、開かないことを確認してください。	油もれ危険 ●給油後は、給油口を下にして油もれないことを確認してからストーブにセットしてください。	
①確実にロック 「パチン」と音が 強く押す するまで強く押す 	②ロックの確認 持ち上げて確認 給油口をしめたあと、先端を指で持ち上げ、開かないことを確認してください。 	③油もれの確認

(2) 日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気洗濯乾燥機について（管理番号A201400725）

① 事故事象について

日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社（現 日立アプライアンス株式会社）が製造した電気洗濯乾燥機を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の内蓋上にこぼれた洗剤が外槽部に流れ込み、ヒーターリード線に付着して芯線が腐食し、脱水時等の振動により断線して短絡が生じて、近傍の樹脂部品に着火し、発煙・出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2005年（平成17年）12月20日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、複数回にわたる新聞社告の掲載、ダイレクトメールの送付や販売店でのポスター掲示等により、注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修（安全対策を施したヒーターリード線ユニットに交換）を実施しています。

また、2013年（平成25年）10月から同社はウェブサイトをリニューアルしリコール製品の検索を容易にするとともに、注意喚起チラシを作成し、販売店を通じ、また、同社製品全般の修理・点検時等に配布しております。さらに、2015年（平成27年）2月から購入頻度の高い交換部品に当該リコール品の改修チラシを同梱する予定としており、引き続き、無償点検・改修の呼び掛けを行うことにしています。

③ 対象製品等：機種・型式、製造番号、対象製造期間、改修対象台数

機種・型式	製造番号	対象製造期間	改修対象台数
NW-D8AX (H)、(G)、(P)	全数	2001年8月	140,556
NW-CSD80A (H)	全数	～	1,796
NW-D8BX (A)、(W)、(Y)	2000001 ～ 2068302	2002年12月	68,302
NW-D6BX (G)、(D)	2000001 ～ 2028218		28,218
合 計			238,872

(注) 上記の製造番号以外は対象外です。

2005年（平成17年）12月20日からリコール（無償点検・改修）を実施
改修率 79.6%（2015年1月31日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号A201400725）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

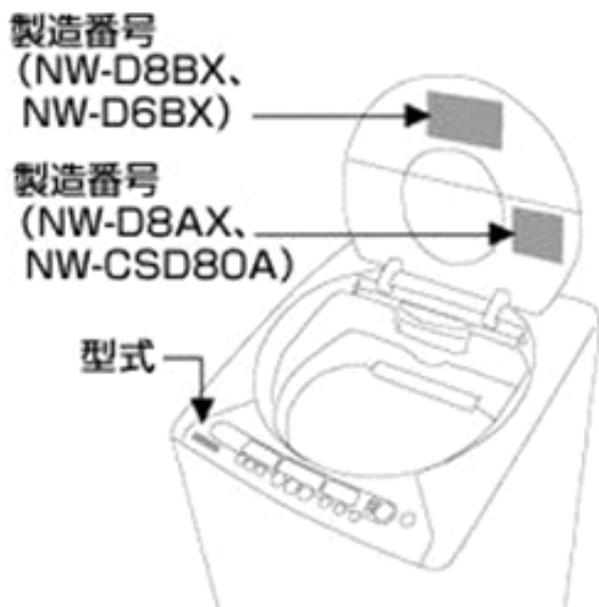
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	2	火災	2010年度	0	—
2012年度	0	—			

＜対象製品の外観（写真はNW-D8AX）＞



＜対象製品の確認方法＞

当該製品の裏蓋に表示されている製造番号及び前面操作パネルに表示されている型式を御確認ください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ】

日立アプライアンス株式会社の問合せ先)

電話 番 号 : 0 1 2 0 - 6 6 7 - 2 2 0

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 7 時 (土・日・祝日を除く。)

ウェブサイト : <http://kadenfan.hitachi.co.jp/nw-db/index.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、後藤、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社コロナが製造した石油ストーブ (開放式) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、鈴木、植杉 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

(日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社 (現 日立アプライアンス株式会社) が製造した電気洗濯乾燥機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、大塚 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400713	平成27年1月1日	平成27年2月2日	ガスストーブ(開放式、LPガス用)	R-652PMSⅢ-401	リンナイ株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品の近くにあったスプレー缶等が焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは1月23日 1月29日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400714	平成27年1月19日	平成27年2月2日	ガスコンビネーションレンジ(都市ガス用)	RMC-703G	リンナイ株式会社	CO中毒 軽症2名	当該製品を使用中、一酸化炭素中毒により2名が軽症を負った。現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から25年以上経過した製品 1月26日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 2月5日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201400718	平成27年1月30日	平成27年2月3日	油だき温水ボイラ	OHQ-3101FFM-1	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	
A201400721	平成27年1月27日	平成27年2月4日	石油ストーブ(開放式)	SX-C210Y	株式会社コロナ	火災	当該製品の給油タンクを引き抜いたところ、灯油が漏れ、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	茨城県	平成20年9月17日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:1.7%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400715	平成27年1月26日	平成27年2月2日	電気カーペット	HU-201(株式会社山善ブランド)	株式会社タツノテック (現 ワタナベ工業株式会社が事業継承) (株式会社山善ブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発都道府県	備考
A201400719	平成27年1月2日	平成27年2月3日	コンセント	JEC-B-5	神保電器株式会社	火災	当該製品に電気ストーブを接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	製造から30年以上経過した製品 1月20日に公表した電気ストーブ(オイルヒーター)に関する事故(A201400666)と同一事業者が事故を認識したのは1月29日
A201400725	平成27年1月24日	平成27年2月4日	電気洗濯乾燥機	NW-D8AX	日立ホーム・アンド・ライフ・ソリューション株式会社(現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の内蓋上にこぼれた洗剤が外槽部に流れ込み、ヒーターリード線に付着して芯線が腐食し、脱水時等の振動により断線して短絡が生じて、近傍の樹脂部品に着火し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	神奈川県	製造から10年以上経過した製品 平成17年12月20日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:79.6%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201400716	平成26年12月21日	平成27年2月3日	電気マット	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	製造から40年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは1月23日
A201400717	平成27年1月22日	平成27年2月3日	凍結防止用ヒーター (水道用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201400720	平成27年1月14日	平成27年2月3日	運動器具(ルームランナー)	重傷1名	公共施設で使用者(70歳代)が当該製品を使用していたところ、転倒し、左腕を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	
A201400722	平成27年1月8日	平成27年2月4日	椅子(入浴介護用)	重傷1名	施設で当該製品を使用して入浴中、被介護者(80歳代)が当該製品の座面をつかんだ状態で、介護者が腕を引き上げたところ、被介護者が左手を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大分県	1月22日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が事故を認識したのは1月27日
A201400723	平成26年12月27日	平成27年2月4日	踏み台(アルミニウム合金製)	重傷1名	使用者(60歳代)が当該製品から降りようとしたところ、転倒し、胸部を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	栃木県	事業者が事故を認識したのは1月26日
A201400724	平成27年1月17日	平成27年2月4日	電動アシスト三輪自転車	重傷1名	使用者(80歳代)が自転車にまたがって地面を蹴って走行中、転倒し、左手を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

コンセント (管理番号 : A201400719)

